

教育デザインフォーラム発表会

—大学院生によるポスター発表—

日 時：平成 28 年 6 月 19 日（日）16：00～18：00

会 場：教育人間科学部 講義棟 7 号館

発 表 題 目

発 表 者

- ・長期的な評価における教員 ICT 指導能力の研修
 - ・「統合」と「分離」の道德学習—ルーマンの社会システム論を手がかりに—
 - ・教員養成課程と看護学科の学生における進路意識の比較—社会的要因に着目して—
 - ・いじめの予防・停止に関わる諸要因の検討
 - ・日本語教育史研究とその実践—湾生と日本語を一例に—
 - ・ICT活用で対話的な言葉を引き出す～漱石『夢十夜』とハーン作品を比較し、文学を享受・共有する授業～
 - ・学校教育目標の実現を図るカリキュラム・マネジメント～国語科の研究のあり方を切り口として～
 - ・小学校外国語活動の教科化・低学年化に対する小学校教員の不安
 - ・日本人英語学習者の発音に関する一考察—明瞭度・理解度・訛りの強さの観点から—
 - ・一般校との学的連携を基軸とした授業研究～抽出児と教材の関連性に着目して～
 - ・数学の学習における学習動機、学習観、学習方略、問題解決方略の関係
 - ・メタ認知による文章題解決の研究
 - ・児童・生徒の理科を学ぶ意義の理解とその経年変化に関する研究
 - ・高等学校理科における自律的なモデリングを促す授業デザインに関する研究
 - ・製作品の構造を丈夫にする工夫
 - ・魚食文化の教材化に関する一考察—高校生の実態調査からの示唆—
 - ・間共同体における音楽教育のダイナミズム—学校・地域・大学の協働による芸術文化活動を中心に—
 - ・中学・高校部活動におけるアンサンブル練習法の検討—Dickinson & McIntyre のチームワークモデルに基づいて—
 - ・学校現場における、教員とアーティストの協働による教育的効果について
 - ・鉄棒運動における指導方法の検討—塩ビパイプを使用した実践を通して—
 - ・通常学級に在籍する離席行動を示す児童に対するトークン・エコノミー法を用いた支援
 - ・通常学級における障害のある子どもの学習や社会性向上の保障について
 - ・Emotional Treatment 尺度作成の試み—Bion のコンテイナー—コンテインドモデルを基にして—
- | |
|----------------|
| 廣瀬 絵里奈（臨床教育） |
| 姚 詩琪（臨床教育） |
| 劉 博昊（教育学） |
| 有村 勇紀（心理学） |
| 関 真伍（心理学） |
| 三浦 大明（日本語教育） |
| 岩田 晴之（国語） |
| 本間 隆司（国語） |
| 藤原 剛（英語） |
| 増尾 佐紀（英語） |
| 吉村 直介（社会） |
| 清水 優菜（数学） |
| 守谷 真一（数学） |
| 本間 洋一郎（理科） |
| 一ノ瀬 友輝（理科） |
| 三根 拓也（技術） |
| 中川 広大（家政） |
| 久田 由紀子（音楽） |
| 井辻 冴聡（音楽） |
| 増田 悠（美術） |
| 佐久間 光太（保健体育） |
| 松澤 佑子（特別支援教育） |
| 畑中 由美子（特別支援教育） |
| 佐藤 麻衣子（臨床心理学） |